

栃木県で協会設立

IIのリフレッシュ工法 II 社会資本の保全に寄与

栃木県のリフレッシュ工法協会の設立総会が7日、栃木県宇都宮市のコンセーレで開催され、会長に青山雅美増渕組執行役員常務II写真IIが就任した。

同工法は、老朽モルタル吹付け面の補強や景観

シエクトの成果と今後の展開が発表され、質疑応答が行われた。

最後に、野崎秀則社長が、「2020年の目標達成に向け、重点化事業のビジョン、戦略を見据えながら、重点化プロジェクトを展開することが重要だ。また、収益性のあるプロジェクトモデルが多く創出されるよう、長期的な展望を持って『個の強化』『連携の強化』を着実に進めてほしい」と締めくくった。発表に対しては、出席した役員によるインターネット投票を行い、最優秀賞1件、優秀賞2件を表彰した。発表プロジェクトは次の通り。

「インフラ保全・運営管理」基礎自治体での包

の向上を目的とした「増厚吹付工」、地盤と既設モルタル背面の密着性を高める「空隙充填工」、地盤の強化を目的とした「地盤注入工」によって、のり面を安定させるもの。対策工は、老朽化の原因を排除・抑制可能な

括管理業務向けのグループ連携戦略と具体的なプロジェクト紹介（オリエンタルコンサルタンツ）▽空間情報技術（FOCUS等）を活用した既設橋梁計測の高度化（エイテック）▽FOCUSの適用事例と今後の活用検討（アサノ大成基礎エンジニアリング）

「防災」路線選定におけるLP図を用いたリスク評価の効率化（オリエンタルコンサルタンツ）▽LPデータを用いた堤防リスクポイント抽出作業の効率化（中央設計技術研究所）

「交通（高度化・総合化）」生活道路交通安全対策の事業戦略（エイテック）

「地域活性化」観光情報記言ナビゲーションプロジェクト



機能を有している工法の組合せを、のり面と背面地山状態により5タイプから適切な工法を選択する。

宮崎亀の甲太陽光発電所が竣工

NTTファシリティーズ

NTTファシリティーズの100%出資で設立



同施設の概要として、設置場所は宮崎県東諸県郡国富町大字三名字方蔵谷3170他、設置容量は3万2697キロワットで、想定年間発電量は約4万キロワット時となる。発電開始日は17年1月5日としている。

今回、時代のニーズに応えるとともに、社会資本の保全に寄与するため、栃木県のリフレッシュ工法協会が設立された。

会員は次の通り。

〈特別会員〉岩澤建設
▽栗山山本建設▽三晃建設▽谷果組▽東武建設
増渕組、〈正会員〉ライト工業栃木営業所（事務局）、〈賛助会員〉アウラ・シーイー

会社で、世界で100以上のゴルフコースデザインの実績を持つ。同覚書は、日本国内のゴルフコースおよび住宅などを併設するゴルフリゾートの新設事業に付

会長）は11月25日、都内の競技場でECFAスポーツ交流会「第7回ECFA杯フットサル大会」を開催した。今回、会員企業から13社0チーム約30人が参